

令和7年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	2	学校名	国際中学校・国際高等学校
----	---	-----	--------------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	グローバル探究
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	グローバル探究は、中学校と高等学校の全学年で取り組む学校設定科目である。グローバル探究では、ローカルな問題をグローバルな視点で捉え、世界に通じる解決策を考え実践する活動を行うことを目標とする。
連携・協働相手	奈良県、生駒市、登美ヶ丘南公民館、秋篠川源流を愛し育てる会、登美ヶ丘地区社会福祉協議会
地域と共有している目標・課題等	グローバル探究での取組を通して、地域の問題を発見し、それをグローバルな視点で問題解決に導く手法を考え実践する。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
生徒が地域の問題や課題を調査し、それをグローバルな視点で分析する。その上で、各グループが異なる分野や国の事例を調査し、比較・検討する。そして、地域の問題や課題について世界に通じる解決策を提案した。また、その解決に向けて実際に地域で実践するプロジェクトを立案し、地域の方の協力を受けて実施した。最後に、学びの成果を地域の方や県内教員等を招いた場で発表したり、論文としてまとめたりした。	

2. 事業の成果と課題

地域にある課題に目を向け、それを地域の人々と協働して解決する取組を学校全体で共有することができた。また、その取組を通じて生徒は、自分たちがどう生きるか、何が正しいと思い行動するか等、卒業後の人生にもつながる価値観を常に問いかけることができた。これまでに継続して実施してきた地域との協働活動を通して、生徒は卒業生や先輩をロールモデルとして、積極的に地域と繋がる姿勢をもつことができた。中学校で11月に行った発表会では、保護者や県内教育関係者を招き、中学3年生がグローバル探究の成果を発表した。登美ヶ丘地区社会福祉協議会の中村氏の協力により、これまでも取り組んできた「登美ヶ丘わいわいフェスタ」での地域の皆さんとの交流をさらに充実させた。このように、学校の取組を地域の方々に示し、地域の理解とさらなる連携強化に向けて活動した。

